

になったとしても薬物を使うことはないです。子供たちが安全安心に生活できるような環境を整えることも麻薬取締官の使命だと思います。

—麻薬取締官を目指す上で、向いている人物像はありますか？

被疑者を取り調べる際のコミュニケーション能力やパソコン操作に長けていること、体力があることなどいろいろなことができるのが理想です。しかし、チームで行動しているため、それぞれの長所を生かし短所を補いながら最終的に一つの成果が出れば良いと思います。

近年、秘匿性の高いメッセージアプリの使用やビットコインでの薬物代金の支払いなど、薬物犯罪も巧妙化してきています。好奇心旺盛で、いろいろなことに興味を持てる人は、麻薬取締官に向いていると思います。

—薬学部を卒業したことが強みだなと感じたことはありますか。

麻薬取締官の仕事には正規麻薬の監視・指導があります。病院や薬局に立

ち入り検査に行き、薬局の帳簿を確認したり、カルテの記載内容を確認したりします。この時は、薬学部で学んだ知識が生かせるので、薬学部卒の強みです。

また、覚醒剤の現場での試験は、シモン反応などの呈色試験を用います。その反応の原理が分かるのも強みかと思えます。

—電子機器や情報系、法律の知識が必要とのことですが、入職後に自分で勉強するのですか。

薬学部では薬剤師法などを学びますが、残念ながら麻薬取締官の実務では使いません。実務で扱う刑法や刑事訴訟法などは一から学ぶ必要がありますが、麻薬取締部に採用された後に研修などで勉強しますので心配しなくて大丈夫です。

—仕事を行う上で名前を明かさないといいことはありますか。

不必要に自分が麻薬取締官をしていることは言いませんが、当然、親や家族には言っていますよ。

## 薬物は社会全体の問題

—麻薬取締官は少数精鋭のイメージがあるのですが、人手不足などは感じますか。

麻薬取締官は全国に290人ほどしかいません。一方で警察官は全国で約30万人います。確かに人数は少ないですが、各取締官が自分の能力を最大限発揮し、効率的に捜査することで、人数の少なさを補っています。人手が足りないと感じた時は、業務を効率的に改善することで、解決しています。

—休みはどの程度ありますか。

公務員なので、1日の勤務時間は7時間45分、土日祝日が休みのカレンダー通りの勤務が基本です。しかし、相手がいる仕事なので自分のスケジュールだけでは動けません。24時間体制の尾行であれば、交代で対象者を監視するので勤務時間も不規則になりがちです。対象者の行動を確認する必要があるれば休日も出勤しますが、休みがないということではなく、休日に出勤し

た分はきちんと休みを取れますし、夏休みもあります。メリハリをつけて仕事をしています。

—最後に、薬学生にメッセージをお願いします。

覚醒剤使用者の中には、「他人には迷惑をかけていない、覚醒剤を使って何が悪いのか」と開き直る人もいます。しかしそれは間違いで、周囲の人間を疲弊させます。薬物を買うのに必要なお金を身近な家族から無理やり手に入れたり、薬物のせいで平気で嘘をつき、大声で高圧的な態度を取る人もいます。たった一人、そういう人がいると周囲の人間が疲弊し、人間関係が崩壊します。

二次犯罪も恐ろしいです。数年前に危険ドラッグ使用者が車を運転し暴走した事件がありました。薬物を使った一人の人間が車を運転したために、全く関係ない人の命が奪われているわけです。

考えよう！

## キャリアデザイン

独立するということキャリア

②

前回から「独立」についてお伝えしています。前回は、慎重な準備をしなくても独立できる場合があるというお話をしました。そういう独立の仕方もありますが、大抵の場合は「独立資金」が必要になります。今回は、知っておきたい「独立資金」について話します。

「薬剤師として理想の薬局を作りたい」と開局を目指す場合を考えてみます。この場合、事前に必要な資金を準備しなければなりません。まずは会社を作るための資金が必要です。今は資本金が少額でも会社を興すことができる時代になったので、これには大きなお金は要りませんが、法務局に行って会社設立の申請が必要になるなど、少しずつ何かとお金がかかります。

その上で一番大きな資金が必要になるのは、薬局の建物を借りる時の保証金や、作る時の内装工事費、機械・什器等の設備費です。薬局は店舗業、つまりお店になりますので、できれば建物の1階を探すことになると思いますが、ご想像通り一番家賃が高いのは建物の1階です。そういったいろいろなことにお金がかかりますので、薬局を開くには1000～3000万円くらいの資金が必要になります。スタッフを1人でも雇えば給料を払わなければなりませんので、更に資金を準備する必要があります。

薬物は個人の問題ではなくて、社会全体の問題として非常に怖いものです。薬物は海外からたくさん輸入され、暴力団や海外のテロ組織の資金源になっており、より世界を不安定化させるためのお金に使われてしまっています。



キャリア・  
ポジション社長

西鶴 智香

薬局を作るにはそんなにお金がかかるのか、と驚かれるかもしれませんが、自分でできることはなるべく自分でやるとか、安い業者を探すとか、居ぬき（以前借りていた会社の設備等が付いている）物件を探すとか、工夫次第で少しでも経費を節減できます。

運転資金も必要です。薬局の場合、その月の患者の自己負担額以外の売上げ金（保険請求分）については2カ月後の入金になりますので、給与の支払い等でまずは3カ月の運転資金を準備する必要があります。

さて、それではその資金は自己資金で賄わなければならないのでしょうか。資金の調達の方法には、自分の貯金を取り崩す方法と、金融機関から借りる方法があります。金融機関からお金を借りる場合、例えば突然1人で銀行の窓口を訪れ「お金を貸してほしい」と言ってもすぐには貸してはくれません。創業時は「日本政策金融公庫」等が融資を検討してくれやすい機関で、融資額の利率、保証人の要否等の確認は慎重に。この話、次回に続きます。

麻薬取締官は決して楽な仕事ではないですが、私たちが規制薬物を少しでも多く押収することで、誰かを助けて、日本を守ることに繋がっています。

少しでも多くの笑顔を増やすため、薬学生の皆さん、ぜひ一緒に働きましょう。

FREE

# いつでも薬ゼミ どこでも薬ゼミ

薬学生 全学年対応

Yakuze Seminar

download on the  
App Store

Google Play  
で手に入れよう

学校法人 医学アカデミー  
**薬学ゼミナール**